資料－３

平成３０年度　公害実態調査について

公害調査報告一覧表

１．地下水質調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．地下水放射性物質調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
用語説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
地下水質調査測定場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
３．農業用水路・河川水質調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
用語説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
農業用水路・河川水質調査測定場所・・・・・・・・・・　１３
４．騒音・振動調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
騒音・振動の要請限度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
５．自動車騒音常時監視・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
騒音・振動調査測定場所及び
自動車騒音常時監視評価路線・・・・・・・・・・・　２０
６．二酸化窒素調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
二酸化窒素調査測定場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
７．公害苦情受理報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４

1. 地下水質調査

地下水質調査結果表

実施日：平成31年1月21日

採水場所		深さ	用途	検査項目（基準値）															
				硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	亜硝酸性窒素	塩化物イオン	有機物	一般細菌	大腸菌	PH値	鉄	硬度（カルシウム・マグネシウム等）	臭気	味	色度	濁度	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
				合計量 10mg/l以下	0.04mg/l以下	200mg/l以下	3mg/l以下	100個/ml以下	検出されないこと	5.8～8.6	0.3mg/l以下	300mg/l以下	異常ないこと	異常ないこと	5度以下	2度以下	0.01mg/l以下	0.01mg/l以下	1mg/l以下
1	美園 地内	深井戸	風呂，トイレ，洗濯，散水	6.2mg/l	0.004mg/l	15.7 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.4	0.03mg/l未満	112 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0005mg/l	0.0032mg/l	0.0001mg/l未満
2	乙子 地内	不明	飲用，風呂，トイレ，洗濯，散水	2.1mg/l	0.004mg/l未満	11.0 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.4	0.03mg/l未満	86.5 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
3	けやき台6 地内	40m	散水	0.1mg/l未満	0.005mg/l	17.6 mg/l	1.3mg/l	0個/ml	不検出（陰性）	7.1	0.98mg/l	186 mg/l	なし	なし	22.0度	4.7度	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
4	高野 地内	30m	風呂，散水	0.1mg/l未満	0.004mg/l未満	3.1 mg/l	0.4mg/l	0個/ml	不検出（陰性）	7.7	0.04mg/l	51.5 mg/l	なし	なし	2.2度	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
5	松ケ丘7 地内	30m	風呂，散水	2.3mg/l	0.004mg/l未満	16.1 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.4	0.03mg/l未満	150 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
6	大柏 地内	不明	散水	1.9mg/l	0.004mg/l未満	9.8 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.3	0.03mg/l未満	63.5 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
7	板戸井 地内	深井戸	洗濯，散水	0.1mg/l未満	0.004mg/l未満	18.7 mg/l	0.6mg/l	0個/ml	不検出（陰性）	7.6	0.16mg/l	143 mg/l	なし	なし	3.3度	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
8	板戸井 地内	10～20m	飲用，散水	7.1mg/l	0.004mg/l未満	7.6 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.4	0.03mg/l未満	41 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
9	板戸井 地内	深井戸	飲用，風呂，トイレ，洗濯，散水	7.4mg/l	0.004mg/l	7.0 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.4	0.03mg/l未満	35 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
10	久保ケ丘4 地内	15m	風呂，トイレ，洗濯，散水	0.1mg/l未満	0.004mg/l	2.4 mg/l	0.6mg/l	0個/ml	不検出（陰性）	7.6	0.13mg/l	67.5 mg/l	なし	なし	3.9度	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
11	立沢 地内	42m	飲用，風呂，洗濯，散水	0.1mg/l未満	0.007mg/l	12.2 mg/l	0.4mg/l	0個/ml	不検出（陰性）	7.5	0.42mg/l	135 mg/l	なし	なし	11.5度	1.4度	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
12	立沢 地内	不明	飲用，風呂，散水	2.5mg/l	0.005mg/l	4.5 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.7	0.03mg/l未満	89.5 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0002mg/l	0.0112mg/l	0.0001mg/l未満
13	松並青葉3 地内	深井戸	風呂，トイレ，洗濯，散水	1.3mg/l	0.004mg/l未満	3.1 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.7	0.03mg/l未満	106 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
14	ひがし野2 地内	60m	風呂，トイレ，洗濯，散水	0.1mg/l未満	0.005mg/l	9.6 mg/l	0.9mg/l	0個/ml	不検出（陰性）	8.0	0.08mg/l	184 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
15	同地 地内	浅井戸	風呂，散水	6.9mg/l	0.004mg/l未満	11.9 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	8.1	0.03mg/l未満	52 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
16	本町 地内	30～40m	飲用，風呂，トイレ，洗濯，散水	8.0mg/l	0.005mg/l	7.8 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.8	0.03mg/l未満	85 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満

注 ［　　］は，基準値を超えた値

＊ 基準値の超過に係る主な原因や浄化方法等について

○ 鉄 ―― 主に地質によるものであるが，鉱山廃水，工場排水などの混入，あるいは鉄管にも由来する。対策としては，不溶解性鉄はろ過装置での除去，溶解性鉄は塩素処理を行い不溶解性鉄同様ろ過装置での除去が必要になる。

○ 色度 ―― フミン質（地質や樹木などの植物のセルロースやリグニン酸が酸化される過程で生じる物質で腐植質ともいう）を主とする溶解性あるいはコロイド性物質によるものがほとんどで，塵芥，厨芥を埋め立てた地域の浸出水，地下水はフミン質が多く含まれ，淡黄色に着色する。また，鉄やマンガン化合物によっても着色する。急速ろ過等により除去できるが，完全に除去することはできない。

○ 濁度 ―― 濁りの原因となる物質には，粘土性物質（ケイ酸塩が主体），鉄などの金属が化学変化し不溶性の粒子となったもの，プランクトン，微生物，有機性物質などがある。地下水では，一般に濁りは少ないが，鉄やマンガンを多く含む水では，空気との接触で，徐々に酸化が進み濁ってくる。

○ テトラクロロエチレン ―― 揮発性有機塩素系化合物の1種で、無色透明の液体です。主な用途としては、ドライクリーニング、溶剤等があります。人体への影響としては、目や皮膚、気管を刺激するほか、肝臓や腎臓の機能障害などがあります。また、廃液等による地下水汚染の進行が懸念されています。

今回の調査で基準を超えた井戸を使用している所有者に対しては，飲用の不適の旨，また基準値を超えた項目に対しての対処方法を通知した。

（参考）

平成29年度　地下水質調査結果表

実施日：平成29年11月27日

採水場所		深さ	用途	検査項目（基準値）															
				硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	亜硝酸性窒素	塩化物イオン	有機物	一般細菌	大腸菌	PH値	鉄	硬度（カルシウム・マグネシウム等）	臭気	味	色度	濁度	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
				合計量10mg/l以下	0.04mg/l以下	200mg/l以下	3mg/l以下	100個/ml以下	検出されないこと	5.8～8.6	0.3mg/l以下	300mg/l以下	異常ないこと	異常ないこと	5度以下	2度以下	0.01mg/l以下	0.01mg/l以下	1mg/l以下
1	立沢　地内	深井戸	飲用，散水	1.5mg/l	0.006mg/l	13.1 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	6.7	0.06mg/l	19.5 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
2	立沢　地内	浅井戸	散水	11.2mg/l	0.006mg/l	25.9 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.1	0.03mg/l未満	227 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
3	大山新田　地内	浅井戸	風呂，トイレ，散水	1.3mg/l	0.006mg/l	11.6 mg/l	0.3mg/l未満	4個/ml	不検出（陰性）	7.2	0.04mg/l	54.5 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
4	大木　地内	50m	飲用，風呂，洗濯，散水	0.1mg/l未満	0.004mg/l	11.3 mg/l	0.3mg/l未満	2個/ml	不検出（陰性）	7.2	1.09mg/l	145 mg/l	なし	なし	16.6度	4.9度	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
5	大木　地内	30～50m	洗濯，散水	0.1mg/l未満	0.005mg/l	4.8 mg/l	0.8mg/l	0個/ml	不検出（陰性）	7.7	0.36mg/l	100 mg/l	なし	なし	6.2度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
6	野木崎　地内	深井戸	風呂，トイレ，洗濯，散水	11.3mg/l	0.006mg/l	13.3 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.9	0.04mg/l	193 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
7	立沢　地内	深井戸	飲用，散水	0.1mg/l未満	0.006mg/l	9.6 mg/l	0.3mg/l未満	1個/ml	不検出（陰性）	8.2	0.10mg/l	86 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
8	百合ケ丘2　地内	深井戸	散水	3.1mg/l	0.009mg/l	3.1 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.5	0.11mg/l	31 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
9	百合ケ丘2　地内	8.75m	飲用，散水	2.5mg/l	0.006mg/l	5.8 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.0	0.09mg/l	23 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
10	松並　地内	浅井戸	飲用，洗濯，散水	4.3mg/l	0.009mg/l	40.3 mg/l	0.3mg/l未満	11個/ml	不検出（陰性）	6.7	0.03mg/l未満	73 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
11	本町　地内	浅井戸	飲用，トイレ，洗濯，散水	8.5mg/l	0.008mg/l	8.5 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.7	0.05mg/l	145 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
12	乙子　地内	75m	散水	1.3mg/l	0.009mg/l	11.2 mg/l	0.3mg/l未満	9個/ml	不検出（陰性）	7.3	0.03mg/l	184 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0042mg/l	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
13	高野　地内	40m	飲用，風呂，トイレ，洗濯，散水	0.1mg/l未満	0.011mg/l	32.1 mg/l	0.5mg/l	0個/ml	不検出（陰性）	7.9	0.03mg/l未満	171 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
14	高野　地内	40m	散水	0.1mg/l未満	0.010mg/l	12.1 mg/l	0.3mg/l	0個/ml	不検出（陰性）	7.9	0.86mg/l	61 mg/l	なし	なし	9.9度	1.4度	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
15	大柏　地内	深井戸	散水	17.6mg/l	0.007mg/l	20.3 mg/l	0.3mg/l未満	0個/ml	不検出（陰性）	7.7	0.09mg/l	252 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満
16	野木崎　地内	15m	飲用，散水	1.8mg/l	0.006mg/l	13.2 mg/l	0.3mg/l未満	21個/ml	不検出（陰性）	7.8	0.09mg/l	48.5 mg/l	なし	なし	2.0度未満	0.5度未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満	0.0001mg/l未満

注　　は，基準値を超えた値

＊　基準値の超過に係る主な原因や浄化方法等について

○　硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 ―― 窒素肥料の使用，生活排水，工場排水等がこれらの汚染源であり，地下水については，浅層水に多く溶存しており，深層水では少ないのが普通である。乳幼児が高濃度の硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水を摂取し続けた場合，ヘモグロビン血症を起こし窒息状態になることが知られている。浄化方法としてはイオン交換法がある。

○　鉄 ―― 主に地質によるものであるが，鉱山廃水，工場排水などの混入，あるいは鉄管にも由来する。対策としては，不溶解性鉄はろ過装置での除去，溶解性鉄は塩素処理を行い不溶解性鉄同様ろ過装置での除去が必要になる。

○　色度 ―― フミン質（地質や樹木などの植物のセルロースやリグニン酸が酸化される過程で生じる物質で腐植質ともいう）を主とする溶解性あるいはコロイド性物質によるものがほとんどで，塵芥，厨芥を埋め立てた地域の浸出水，地下水はフミン質が多く含まれ，淡黄色に着色する。また，鉄やマンガン化合物によっても着色する。急速ろ過等により除去できるが，完全に除去することはできない。

○　濁度 ―― 濁りの原因となる物質には，粘土性物質（ケイ酸塩が主体），鉄などの金属が化学変化し不溶性の粒子となったもの，プランクトン，微生物，有機性物質などがある。地下水では，一般に濁りは少ないが，鉄やマンガンを多く含む水では，空気との接触で，徐々に酸化が進み濁ってくる。

今回の調査で基準を超えた井戸を使用している所有者に対しては，飲用の不適の旨，また基準値を超えた項目に対しての対処方法を通知した。

２. 地下水放射性物質調査

地下水放射性物質調査結果表　　実施日：平成３１年１月２１日

採　水　場　所		深　さ	用　　途	検査項目（基準値） 放射性セシウム 10Bq/l
1	美園　地内	深井戸	風呂，トイレ，洗濯，散水	不検出
2	乙子　地内	不明	飲用，風呂，トイレ，洗濯，散水	不検出
3	けやき台６　地内	40m	散水	不検出
4	高野　地内	30m	風呂，散水	不検出
5	松ケ丘7　地内	30m	風呂，散水	不検出
6	大柏　地内	不明	散水	不検出
7	板戸井　地内	深井戸	洗濯，散水	不検出
8	板戸井　地内	10～20m	飲用，散水	不検出
9	板戸井　地内	深井戸	飲用，風呂，トイレ，洗濯，散水	不検出
10	久保ケ丘４　地内	15m	風呂，トイレ，洗濯，散水	不検出
11	立沢　地内	42m	飲用，風呂，洗濯，散水	不検出
12	立沢　地内	不明	飲用，風呂，散水	不検出
13	松並青葉３　地内	深井戸	風呂，トイレ，洗濯，散水	不検出
14	ひがし野２　地内	60m	風呂，トイレ，洗濯，散水	不検出
15	同地　地内	浅井戸	風呂，散水	不検出
16	本町　地内	30～40m	飲用，風呂，トイレ，洗濯，散水	不検出

注　　は，基準値を超えた値

（参考）

平成29年度地下水放射性物質調査結果表　　実施日：平成29年11月27日

採水場所		深さ	用途	放射性セシウム 10Bq/l
1	立沢　地内	深井戸	飲用，散水	不検出
2	立沢　地内	浅井戸	散水	不検出
3	大山新田　地内	浅井戸	風呂，トイレ，散水	不検出
4	大木　地内	50m	飲用，風呂，洗濯，散水	不検出
5	大木　地内	30～50m	洗濯，散水	不検出
6	野木崎　地内	深井戸	風呂，トイレ，洗濯，散水	不検出
7	立沢　地内	深井戸	飲用，散水	不検出
8	百合ケ丘2　地内	深井戸	散水	不検出
9	百合ケ丘2　地内	8.75m	飲用，散水	不検出
10	松並　地内	浅井戸	飲用，洗濯，散水	不検出
11	本町　地内	浅井戸	飲用，トイレ，洗濯，散水	不検出
12	乙子　地内	75m	散水	不検出
13	高野　地内	40m	飲用，風呂，トイレ，洗濯，散水	不検出
14	高野　地内	40m	散水	不検出
15	大柏　地内	深井戸	散水	不検出
16	野木崎　地内	15m	飲用，散水	不検出

注　　は，基準値を超えた値

用 語 説 明

硝酸窒素及び亜硝酸窒素

窒素は時間をかけてゆっくりと硝酸窒素と亜硝酸窒素に変化していく。土壌，水，植物中に存在し，最近では窒素肥料により汚染された例もある。し尿は家庭用雑排水，工場排水による汚染の指標になる。

乳幼児などに悪影響を及ぼす事もあり，ヘモグロビン血症を起こす可能性があるとされている。

亜硝酸性窒素

窒素肥料，生活排水，腐敗した植物等に含まれる窒素酸化物が亜硝酸性窒素へ変化し，副腎等に影響があるとされている。

塩化物イオン

塩化物イオンとは水に溶け込んでいる塩素分を指す。水道水に含まれる消毒用塩素とは別物で，下水，家庭用排水，し尿による汚染の指標になる。

有機物

水中の有機物を炭素の量で表したもので，し尿，工場排水等の混入により増加し，汚染指標の一つになっている。

一般細菌

一般細菌とは標準寒天培地によって発生する生菌の総称を言う。水の清浄度を示す汚染指標となり，著しく多い場合には病原生物に汚染されている場合があるので，飲用する場合は煮沸する方がいいとされている。

大腸菌

人や動物などの糞便中，また土壌中に広く存在し，人畜の排泄物等による汚染指標になっている。飲用する場合は煮沸する必要がある。

ＰＨ値

水素イオン濃度（ＰＨ）は 0～14 で表し，ＰＨが 7 の時を中性，これより数値の高い場合をアルカリ性，低い場合を酸性という。ＰＨ値は外部から影響がない限り安定しているが，降雨や土壌，工場排水による汚染物質の混入により変化する。

鉄

鉄は地殻に広く存在し，地下水にも多く含まれることがある。鉱山や工場排水によるものや鉄管から検出されたりもする。高濃度だと金気味がしたり，洗濯物に色がついたりする。

硬度

水中のカルシウム，マグネシウムの量を表し，硬度 10ｍｇ/ｌ～100ｍｇ/ｌがおいしいと言われる。

臭気

地質の影響や汚染物質の混入により変化することがある。

味

地質の影響や汚染物質の混入により変化することがある。

色度

水の色のつき具合のことで，着色の原因は地質由来のものが多く，鉄，マンガンなどの重金属類やフミン質など有機物によるものとされている。

濁度

水の濁り具合で，濁りの原因は配管のさびや生活排水，土砂の混入による。

トリクロロエチレン

化学合成原料，溶剤，金属の脱脂剤，塗料，ドライクリーニングなどに使用され，地下水汚染物質として知られ，中枢神経障がいを起こすことがあり，発がん性がある可能性がある。

テトラクロロエチレン

化学合成原料，溶剤，金属の脱脂剤，塗料，ドライクリーニングなどに使用され，地下水汚染物質として知られ，中枢神経障がいを起こすことがあり，発がん性がある可能性がある。

1，1，1 - トリクロロエタン

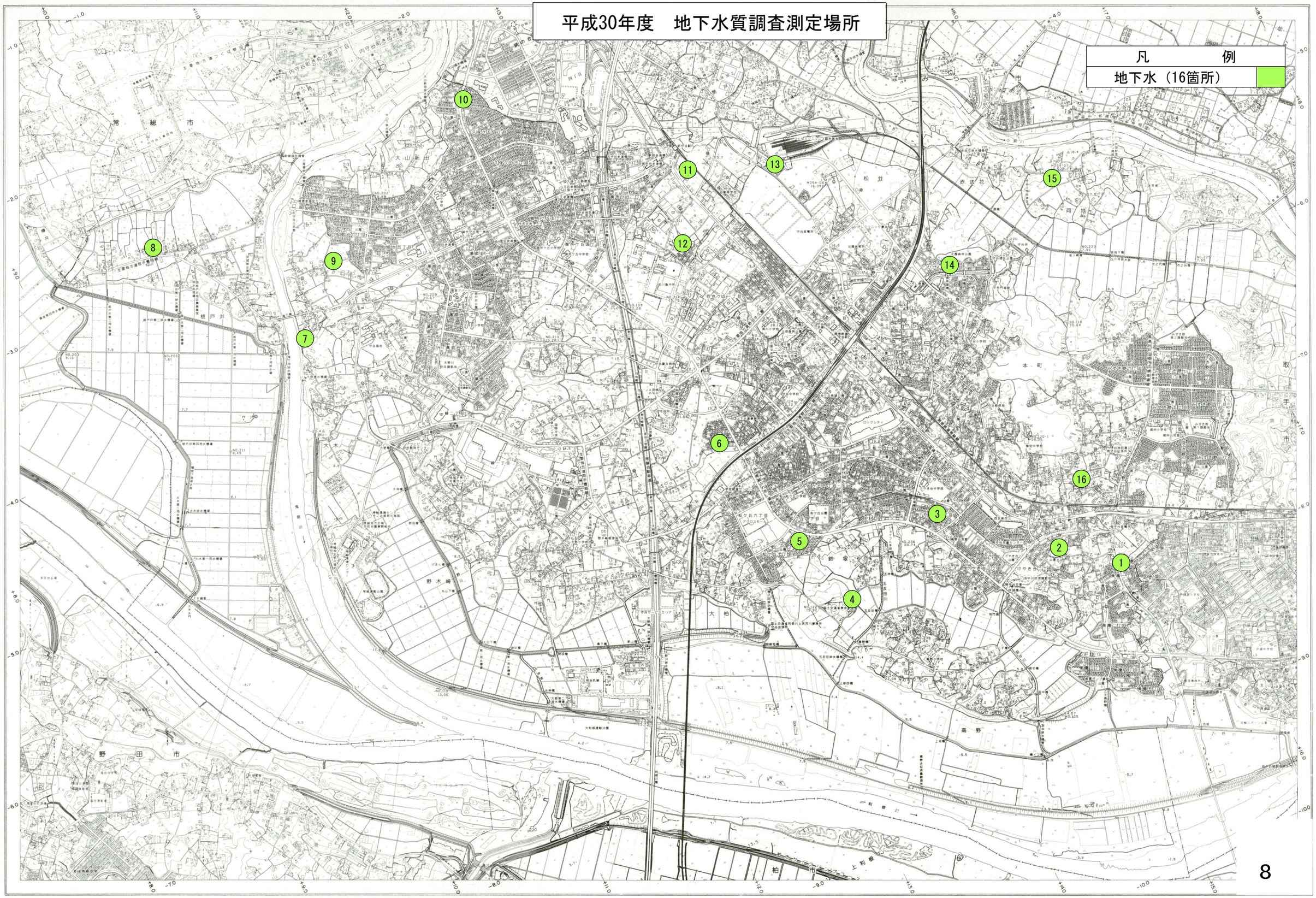
化学合成原料，溶剤，金属の脱脂剤，塗料，ドライクリーニングなどに使用され，地下水汚染物質として知られ，中枢神経障がいを起こすことがあり，発がん

放射性セシウム 134，137

この検査は東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に関連した放射性物質の影響をモニタリングするための項目。

特に，セシウム 137 は，非常に長い半減期(約 30 年)をもち，人体に取り込まれたあとの半減期は 70～100 日程度となるものの，その間，体内で放射線を出し続けていることになるため，内部被ばくが大きな問題となっている。人間はもともと備わっている防御機能・排出機能があり，10%程度は体の外に排出されていくが，残り 90%は体内に残り，細胞などに攻撃を続ける。そのため，細胞がガン化するリスクが高まるとされている。

平成30年度　地下水質調査測定場所



3. 農業用水路・河川水質調査

3－1　農業用水路（平成30年7月25日実施）

	採　水　地	検査項目（基準値）							参考（昭和57年農林省基準）			
		水温	透視度	PH	SS	BOD	DO	亜鉛	T－N	T－P	アンモニア性窒素	COD
		―― ℃	―― cm	6．0～8．5	100mg/l以下	8mg/l以下	2mg/l以上	0．03mg/l以下	2mg/l以下	0．2mg/l以下	0．5mg/l以下	7mg/l以下
1	トーワ流通（株）守谷倉庫付近	25．9	43．0	7．3	41．2	16．9	10．6	0．023	2．5	0．07	0．4	12．5
2	つくばエクスプレス車庫付近	30．2	43．0	7．9	13．7	3．6	8．1	0．011	1．2	0．12	不検出	5．5
3	小貝排水路古城沼付近	30．0	59．0	8．0	11．5	3．2	8．3	0．010	1．2	0．11	不検出	5．2
4	小貝排水路守谷沼付近	29．2	73．0	7．6	6．9	2．8	5．3	0．009	1．0	0．07	不検出	5．5
5	小貝排水路市之代付近	30．1	60．0	7．7	6．6	2．9	6．5	0．012	1．0	0．07	不検出	5．7
6	羽中川羽中排水樋管付近	27．1	38．0	7．7	27．4	2．6	8．0	0．010	1．6	0．12	不検出	7．8
7	五反田川高野橋付近	27．8	48．0	7．7	26．7	3．0	10．5	0．012	2．2	0．08	不検出	6．7
8	大野川桑下排水機場付近	28．5	26．0	7．4	22．3	3．1	8．5	0．015	2．1	0．10	不検出	7．0
9	大野第二排水機場付近	29．1	22．5	7．2	13．4	6．4	9．7	0．008	1．3	0．11	不検出	8．3
10	お玉ケ池	30．9	17．5	7．2	25．6	5．4	9．0	0．016	1．3	0．17	不検出	7．7
11	滝下第一用水機場	31．5	40．0	8．3	14．1	3．7	9．7	0．011	1．4	0．16	不検出	5．8
12	観音下流排水路	31．2	36．0	7．7	12．3	4．1	10．5	0．011	1．0	0．11	不検出	5．7
13	大木水門	31．3	36．0	7．6	8．3	4．3	9．0	0．013	不検出	0．06	不検出	7．2

3－2　河川（平成30年7月25日実施）

	採　水　地	検査項目（基準値）								参考（昭和57年農林省基準）			
		水温	透視度	PH	SS	BOD	DO	亜鉛	大腸菌群数	T－N	T－P	アンモニア性窒素	COD
		―― ℃	―― cm	6．0～8．5	100mg/l以下	8mg/l以下	2mg/l以上	0．03mg/l以下	1000mpn/100ml以下	2mg/l以下	0．2mg/l以下	0．5mg/l以下	7mg/l以下
14	鬼怒川大山新田排水樋管出口付近	30．6	35．0	8．2	14．5	4．2	8．5	0．008	140	1．4	0．13	不検出	5．5
15	鬼怒川（滝下橋）	31．7	37．0	8．2	17．0	3．9	8．6	0．010	140	1．5	0．17	0．1	5．7

3－3　河川（平成31年1月10日実施）

	採　水　地	検査項目（基準値）								参考（昭和57年農林省基準）			
		水温	透視度	PH	SS	BOD	DO	亜鉛	大腸菌群数	T－N	T－P	アンモニア性窒素	COD
		―― ℃	―― cm	6．0～8．5	100mg/l以下	8mg/l以下	2mg/l以上	0．03mg/l以下	1000mpn/100ml以下	2mg/l以下	0．2mg/l以下	0．5mg/l以下	7mg/l以下
16	小貝川（茨城ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院下）	3．4	100以上	7．5	2．0	1．4	12．0	0．006	79	2．8	0．12	不検出	2．8
17	鬼怒川（滝下橋）	5．7	100以上	7．6	2．6	1．7	11．4	0．012	33	2．4	0．17	不検出	2．0

※注　基準値は，生活環境に係る環境基準

　　は，基準値を超えた値

（参考）

３－１　農業用水路（平成29年7月28日実施）

採　水　地		検査項目（基準値）							参考（昭和57年農林省基準）			
		水温	透視度	PH	SS	BOD	DO	亜鉛	T－N	T－P	アンモニア性窒素	COD
		―― ℃	―― cm	6．0～8．5	100mg/l以下	8mg/l以下	2mg/l以上	0．03mg/l以下	2mg/l以下	0．2mg/l以下	0．5mg/l以下	7mg/l以下
1	トーワ流通（株）守谷倉庫付近	23･5	65．5	7．2	5．0	2．1	4．7	0．015	7．5	0．07	5．6	6．2
2	つくばエクスプレス車庫付近	25．4	100以上	7．5	2．1	1．8	7．6	0．026	2．3	0．08	0．4	6．4
3	小貝排水路古城沼付近	25．9	100以上	7．5	4．8	1．5	10．5	0．031	0．9	0．05	不検出	5．3
4	小貝排水路守谷沼付近	25．7	54．0	7．3	9．3	1．3	5．1	0．026	1．1	0．06	0．2	5．8
5	小貝排水路市之代付近	26．5	88．5	7．2	4．4	1．5	4．7	0．013	0．8	0．05	0．1	6．6
6	羽中川羽中排水樋管付近	25．9	54．0	7．2	17．5	1．7	6．9	0．025	0．9	0．08	不検出	6．7
7	五反田川高野橋付近	28．0	100以上	7．4	9．0	1．1	10．7	0．021	2．0	0．05	不検出	6．9
8	大野川桑下排水機場付近	24．7	62．0	7．1	8．5	1．1	5．9	0．022	2．1	0．07	不検出	5．4
9	大野第二排水機場付近	27．7	74．0	7．3	7．7	2．9	4．4	0．012	1．4	0．10	0．3	6．4
10	お玉ケ池	24．7	55．0	7．1	13．7	1．2	5．6	0．010	1．5	0．08	不検出	5．8
11	滝下第一用水機場	28．7	55．0	7．3	7．0	3．4	11．4	0．020	0．8	0．08	不検出	5．7
12	観音下流排水路	29．2	80．0	7．2	5．4	2．6	5．7	0．013	0．8	0．06	不検出	6．0
13	大木水門	30．0	64．0	7．3	13．4	6．5	10．3	不検出	1．1	0．09	不検出	8．4

３－２　河川（平成29年7月28日実施）

採　水　地		検査項目（基準値）								参考（昭和57年農林省基準）			
		水温	透視度	PH	SS	BOD	DO	亜鉛	大腸菌群数	T－N	T－P	アンモニア性窒素	COD
		―― ℃	―― cm	6．0～8．5	100mg/l以下	8mg/l以下	2mg/l以上	0．03mg/l以下	1000mpn/100ml以下	2mg/l以下	0．2mg/l以下	0．5mg/l以下	7mg/l以下
14	鬼怒川大山新田排水樋管出口付近	25．6	67．0	7．4	11．7	1．3	7．2	0．019	220	1．8	0．14	不検出	3．5
15	鬼怒川（滝下橋）	24．5	54．5	7．4	18．4	1．7	7．9	0．007	49	1．7	0．14	不検出	3．7

３－３　河川（平成29年11月27日実施）

採　水　地		検査項目（基準値）								参考（昭和57年農林省基準）			
		水温	透視度	PH	SS	BOD	DO	亜鉛	大腸菌群数	T－N	T－P	アンモニア性窒素	COD
		―― ℃	―― cm	6．0～8．5	100mg/l以下	8mg/l以下	2mg/l以上	0．03mg/l以下	1000mpn/100ml以下	2mg/l以下	0．2mg/l以下	0．5mg/l以下	7mg/l以下
16	小貝川（会田記念ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院下）	11．1	100以上	7．9	3．3	1．2	11．8	0．009	220	2．6	0．05	不検出	2．3
17	鬼怒川（滝下橋）	10．7	100以上	7．8	3．4	不検出	11．1	不検出	70	1．9	0．06	不検出	1．6

※注　基準値は，生活環境に係る環境基準

は，基準値を超えた値

用 語 説 明

透視度（Trannsuparennsy）

試料の澄明の程度を示すもので，透視度計の上部から透視し，底部に置いた二重十字マークが識別できた時の高さを読み取る。

処理水質の程度を表すのに最も簡単で，処理状況の変化をいち早く発見でき，ＳＳ，ＢＯＤなどと相関を示す場合が多いので，水質を見るのに適している。一般に 100 以上のときは，水質は良好である。

ＰＨ値

水素イオン濃度（ＰＨ）は 0～14 で表し，ＰＨが 7 の時を中性，これより数値の高い場合をアルカリ性，低い場合を酸性という。ＰＨ値は外部から影響がない限り安定しているが，降雨や土壌，工場排水による汚染物質の混入により変化する。

ＳＳ（Suspended Solids）：浮遊物

水中に浮遊している微細な固形物をいう。通常 2 ㎜のフルイを通した水をグラスファイバーフィルター（孔径 1μｍ）でろ過し，ろ紙上の残留物を 1 リットル当たりの㎎数で表したものである。

ＢＯＤ（Biochemical Oxygen Demand）：生物化学的酸素要求量

水中の有機物などの量を，その酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したもので，通常 20℃で 5 日間に消費される酸素量のことをいう。

一般に、値が大きい場合は、微生物が酸素をたくさん消費して有機物を分解している状態、即ち、水中に存在する有機物の量が多いことを意味するため水質汚濁の程度が大きい傾向にある。

ＤＯ（Dissolved Oxygen）：溶存酸素

水中に溶解している酸素の濃度のことで，通常はＤＯメータで測定して 1 リットル当たりの酸素の㎎数で表わす。

濃度は気圧，温度，塩分濃度等に影響される。また，有機汚濁の進んだ水中では，好気性微生物による有機物の分解により溶存濃度は消費され濃度が低くなるため，汚濁の有無を知る指標の一つとして使われる。

亜鉛

自然界に比較的広く分布する金属で，汚染のない河川水中には 10μg/l 程度含まれている。また，生物必須元素の一つで，亜鉛が欠乏すると発育不全や生殖機

能不全，皮膚の損傷などが起きる。人体に対する毒性は低く，人の許容摂取量は10～15mg/日程度と言われており，亜鉛による水質汚染が人の健康上問題となることは殆どない。ただし，植物や微生物，魚類に対してはかなり強い毒性があり，魚類の致死濃度は魚種によっても違うが，0.1～50mg/l の範囲とされている。

Ｔ－Ｎ（Total Nitrogen）：全窒素

無機性窒素及び有機性窒素の総量を表わしたものである。

無機性窒素とは，アンモニア性窒素（し尿等の家庭排水から主に流入する窒素），亜硝酸性窒素（窒素化合物の酸化の中間生成物）及び硝酸性窒素（工場からの流入，下水処理施設内でアンモニアの酸化により増加する窒素）を指し，有機性窒素とは，タンパク質をはじめ種々の有機化合物の窒素をいう。

Ｔ－Ｐ（Total Phosphorus）：全リン

水中のリン化合物の総量をリンの濃度で表わしたもので，水の富栄養化の程度を表す指標となる。し尿・洗剤・肥料等に含まれているため，生活排水・工場排水・農業排水等が要因であると考えることができる。

アンモニア性窒素

アンモニウムイオンをその窒素量で表したもの。蛋白質，尿素，尿酸等の有機性窒素の分解により生成するので，窒素系による汚染の消長を知ることができる。主な発生源は，し尿，生活排水，肥料，化学等の工場排水等。アンモニア性窒素が多過ぎると，稲の生育障害をきたし，また浄化処理においては塩素による減菌効果が低下する等の問題が生じる。

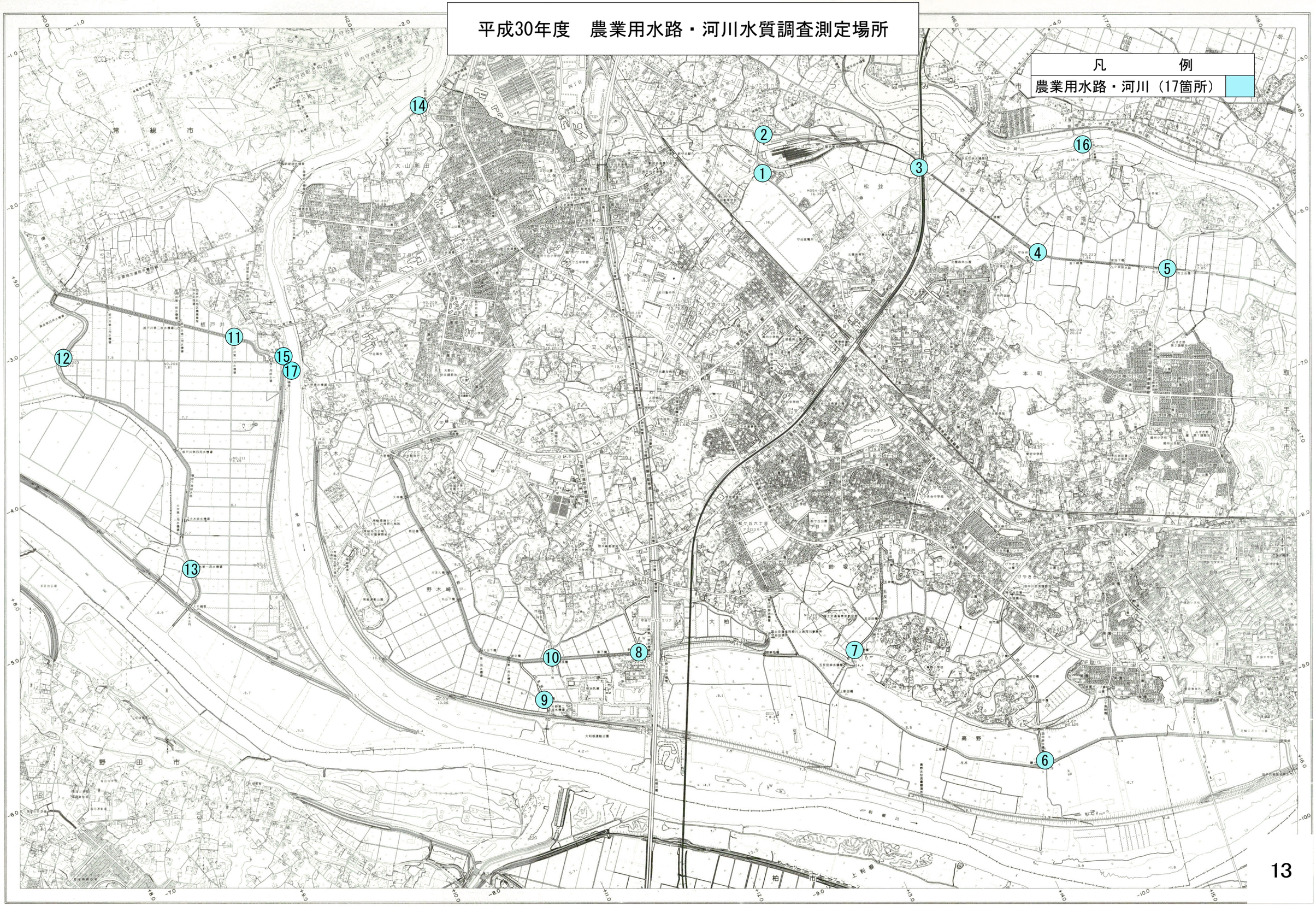
ＣＯＤ（Chemical Oxygen Demand）：科学的酸素要求量

水中に被酸化性物質(主として有機物)がどれくらい含まれるかを、過マンガン酸カリウムなど酸化剤の消費量を酸素の量に換算して示されるもののことである。一般的に，値が大きいほど被酸化性物質が多いことを示し、水質汚濁の程度が大きい傾向にある。

大腸菌群数

大腸菌及び大腸菌と性質が似ている細菌の数のことをいう。ほとんどの種類の大腸菌は，病原性はなく，人の腸内にも多く存在しており，排泄物とともに排出される。検出検査は精度が高いので，赤痢菌等腸管系病原細菌による汚染の有無の間接的指標として利用されている。大腸菌群の数を表す単位「mpn」は最確数と呼び，確率論によって算出された大腸菌群の数を示している。

平成30年度　農業用水路・河川水質調査測定場所



4. 騒音・振動調査

騒音・振動調査結果　実施日　平成30年7月10日～11日　実施箇所　2・5・6・15　　実施日　平成30年7月12日～13日　実施箇所　1・8・9・13
実施日　平成30年7月18日～19日　実施箇所　3・4・7・14　　実施日　平成30年7月24日～25日　実施箇所　10・11・12

	測定地点	区分	騒音レベル(LAeq)	区分	振動レベル(L10)	要請限度 騒音	要請限度 振動	交通量 大型車	交通量 小型車	交通量 二輪車	備考 所在地	備考 基準区域
1	松並地内(市道)	昼間	63デシベル(64・60)	昼間	39デシベル	75デシベル	70デシベル	18台	1150台	12台	松並1630－8	区域(騒音) 6
	ひがしクリニック慶友駐車場脇	夜間	56デシベル(59・52)	夜間	30デシベル未満	70デシベル	65デシベル	1台	79台	3台		区域(振動) 2
2	立沢地内(市道)	昼間	64デシベル(66・62)	昼間	41デシベル	75デシベル	70デシベル	31台	951台	32台	立沢844－1	区域(騒音) 6
	立沢橋　西150m地点	夜間	57デシベル(60・49)	夜間	33デシベル	70デシベル	65デシベル	1台	68台	4台		区域(振動) 2
3	大柏地内(ふれあい道路)	昼間	67デシベル(68・65)	昼間	50デシベル	75デシベル	70デシベル	298台	2546台	48台	大柏1005－172	区域(騒音) 6
	上下水道事務所付近	夜間	64デシベル(67・62)	夜間	51デシベル	70デシベル	65デシベル	81台	166台	6台		区域(振動) 2
4	御所ケ丘五丁目地内(ふれあい道路)	昼間	65デシベル(67・63)	昼間	42デシベル	75デシベル	65デシベル	135台	2513台	43台	御所ケ丘5－25	区域(騒音) 5
	御所ケ丘遊歩道後田歩道橋下	夜間	63デシベル(66・60)	夜間	42デシベル	70デシベル	60デシベル	25台	141台	3台		区域(振動) 1
5	久保ケ丘一丁目地内(市道)	昼間	51デシベル(64・42)	昼間	30デシベル未満	65デシベル	65デシベル	2201台	8290台	46台	久保ケ丘1－5	区域(騒音) 1
	久保ケ丘一丁目・つくばみらい市行政界付近	夜間	45デシベル(49・40)	夜間	30デシベル未満	55デシベル	60デシベル	737台	821台	6台		区域(振動) 1
6	大柏地内(県道)	昼間	66デシベル(69・64)	昼間	46デシベル	75デシベル	70デシベル	23台	955台	21台	大柏297－3	区域(騒音) 6
	雷神橋　東80m地点	夜間	60デシベル(63・56)	夜間	40デシベル	70デシベル	65デシベル	3台	69台	0台		区域(振動) 2
7	松ケ丘四丁目地内(ふれあい道路)	昼間	67デシベル(69・65)	昼間	41デシベル	75デシベル	65デシベル	117台	2476台	31台	松ケ丘4－19	区域(騒音) 5
	松ケ丘小学校交差点付近	夜間	65デシベル(68・63)	夜間	40デシベル	70デシベル	60デシベル	41台	227台	7台		区域(振動) 1
8	百合ケ丘三丁目地内(国道294号)	昼間	68デシベル(70・66)	昼間	48デシベル	75デシベル	65デシベル	228台	4336台	36台	百合ケ丘3－252－1	区域(騒音) 7
	イエローハット守谷店入口	夜間	66デシベル(69・62)	夜間	47デシベル	70デシベル	65デシベル	51台	413台	10台		区域(振動) 1
9	本町地内(市道)	昼間	63デシベル(65・60)	昼間	37デシベル	75デシベル	70デシベル	71台	1412台	25台	本町927	区域(騒音) 6
	ひがし野三丁目交差点付近	夜間	58デシベル(60・57)	夜間	33デシベル	70デシベル	65デシベル	8台	116台	2台		区域(振動) 2
10	みずき野一丁目地内(市道)	昼間	64デシベル(65・61)	昼間	34デシベル	75デシベル	65デシベル	29台	2208台	40台	みずき野1－16－1	区域(騒音) 5
	守谷消防署　南守谷出張所前	夜間	59デシベル(61・55)	夜間	30デシベル未満	70デシベル	60デシベル	3台	148台	2台		区域(振動) 1
11	乙子地内(県道)	昼間	63デシベル(64・60)	昼間	52デシベル	75デシベル	70デシベル	202台	2246台	44台	乙子57－1	区域(騒音) 7
	ラーメン店付近	夜間	60デシベル(62・58)	夜間	49デシベル	70デシベル	65デシベル	43台	216台	13台		区域(振動) 2
12	美園三丁目地内(ふれあい道路)	昼間	69デシベル(70・66)	昼間	44デシベル	75デシベル	65デシベル	135台	3231台	40台	美園3－7－1	区域(騒音) 5
	カレー店前	夜間	66デシベル(69・63)	夜間	42デシベル	70デシベル	60デシベル	45台	276台	7台		区域(振動) 1
13	百合ケ丘三丁目地内(市道)	昼間	63デシベル(65・61)	昼間	39デシベル	75デシベル	65デシベル	30台	1445台	18台	百合ケ丘3－2796－1	区域(騒音) 5
	高砂東公園前	夜間	56デシベル(59・51)	夜間	33デシベル	70デシベル	60デシベル	2台	83台	5台		区域(振動) 1
14	松前台三丁目地内(ふれあい道路)	昼間	70デシベル(70・68)	昼間	48デシベル	75デシベル	65デシベル	86台	2197台	41台	松前台3－2－1	区域(騒音) 5
	松前台三丁目・つくばみらい市行政界付近	夜間	64デシベル(66・61)	夜間	46デシベル	70デシベル	60デシベル	34台	124台	3台		区域(振動) 1
15	大柏地内(高速道路)	昼間	65デシベル(66・63)	昼間	―――	75デシベル	―――	1689台	8649台	34台	大柏841－3	区域(騒音) 7
	守谷わかば幼稚園運動場入口	夜間	63デシベル(65・61)	夜間	―――	70デシベル	―――	561台	939台	3台		―――

注：測定地点欄の方角〇〇mは，常磐自動車道からの距離

は，要請限度を超えた値

（参考）平成29年度　騒音・振動調査

騒音・振動調査結果　実施日　平成29年7月20日～21日　実施箇所　3・4・7・14　　実施日　平成29年7月27日～28日　　実施箇所　10・11・12
実施日　平成29年8月3日～4日　　実施箇所　2・5・6・15　　実施日　平成29年8月30日～8月31日　実施箇所　1・8・9・13

	測定地点	区分	騒音レベル（LAeq）	区分	振動レベル（L10）	要請限度		交通量			備考	
						騒音	振動	大型車	小型車	二輪車	所在地	基準区域
1	松並地内（市道）	昼間	65デシベル（67・64）	昼間	39デシベル	75デシベル	70デシベル	6台	1128台	6台	松並1630－8	区域（騒音）　6
	ひがしクリニック慶友駐車場脇	夜間	59デシベル（64・55）	夜間	30デシベル未満	70デシベル	65デシベル	0台	57台	5台		区域（振動）　2
2	立沢地内（市道）	昼間	65デシベル（67・62）	昼間	41デシベル	75デシベル	70デシベル	31台	946台	24台	立沢844－1	区域（騒音）　6
	立沢橋　西150m地点	夜間	58デシベル（62・52）	夜間	31デシベル	70デシベル	65デシベル	2台	66台	5台		区域（振動）　2
3	大柏地内（ふれあい道路）	昼間	67デシベル（68・65）	昼間	49デシベル	75デシベル	70デシベル	290台	2666台	41台	大柏1005－172	区域（騒音）　6
	上下水道事務所付近	夜間	65デシベル（68・63）	夜間	49デシベル	70デシベル	65デシベル	98台	207台	4台		区域（振動）　2
4	御所ケ丘五丁目地内（ふれあい道路）	昼間	66デシベル（68・64）	昼間	43デシベル	75デシベル	65デシベル	122台	2661台	43台	御所ケ丘5－25	区域（騒音）　5
	御所ケ丘遊歩道後田歩道橋下	夜間	64デシベル（68・62）	夜間	42デシベル	70デシベル	60デシベル	43台	216台	8台		区域（振動）　1
5	久保ケ丘一丁目地内（市道）	昼間	52デシベル（55・48）	昼間	30デシベル未満	65デシベル	65デシベル	0台	1台	0台	久保ケ丘1－5	区域（騒音）　1
	久保ケ丘一丁目・つくばみらい市行政界付近	夜間	47デシベル（49・46）	夜間	30デシベル未満	55デシベル	60デシベル	0台	1台	0台		区域（振動）　1
6	大柏地内（県道）	昼間	66デシベル（69・64）	昼間	45デシベル	75デシベル	70デシベル	4台	988台	16台	大柏297－3	区域（騒音）　6
	雷神橋　東80m地点	夜間	59デシベル（62・56）	夜間	39デシベル	70デシベル	65デシベル	0台	78台	6台		区域（振動）　2
7	松ケ丘四丁目地内（ふれあい道路）	昼間	68デシベル（69・65）	昼間	40デシベル	75デシベル	65デシベル	128台	2693台	50台	松ケ丘4－19	区域（騒音）　5
	松ケ丘小学校交差点付近	夜間	65デシベル（68・63）	夜間	38デシベル	70デシベル	60デシベル	45台	270台	6台		区域（振動）　1
8	百合ケ丘三丁目地内（国道294号）	昼間	68デシベル（73・65）	昼間	47デシベル	75デシベル	65デシベル	443台	4136台	50台	百合ケ丘3－252－1	区域（騒音）　7
	イエローハット守谷店入口	夜間	65デシベル（68・62）	夜間	45デシベル	70デシベル	65デシベル	101台	403台	21台		区域（振動）　1
9	本町地内（市道）	昼間	65デシベル（70・62）	昼間	38デシベル	75デシベル	70デシベル	43台	1338台	24台	本町927	区域（騒音）　6
	ひがし野三丁目交差点付近	夜間	59デシベル（61・55）	夜間	30デシベル未満	70デシベル	65デシベル	3台	99台	2台		区域（振動）　2
10	みずき野一丁目地内（市道）	昼間	65デシベル（66・63）	昼間	34デシベル	75デシベル	65デシベル	29台	2256台	43台	みずき野1－16－1	区域（騒音）　5
	守谷消防署　南守谷出張所前	夜間	61デシベル（64・59）	夜間	30デシベル未満	70デシベル	60デシベル	3台	167台	7台		区域（振動）　1
11	乙子地内（県道）	昼間	64デシベル（66・62）	昼間	52デシベル	75デシベル	70デシベル	230台	2243台	70台	乙子57－1	区域（騒音）　7
	ラーメン店付近	夜間	63デシベル（65・61）	夜間	49デシベル	70デシベル	65デシベル	45台	211台	7台		区域（振動）　2
12	美園四丁目地内（ふれあい道路）	昼間	68デシベル（68・65）	昼間	38デシベル	75デシベル	65デシベル	127台	3103台	46台	美園4－1－4	区域（騒音）　5
	紳士服店前	夜間	65デシベル（67・64）	夜間	36デシベル	70デシベル	60デシベル	34台	275台	6台		区域（振動）　1
13	百合ケ丘三丁目地内（市道）	昼間	64デシベル（66・63）	昼間	40デシベル	75デシベル	65デシベル	0台	1423台	27台	百合ケ丘3－2796－1	区域（騒音）　5
	高砂東公園前	夜間	57デシベル（60・51）	夜間	33デシベル	70デシベル	60デシベル	0台	56台	10台		区域（振動）　1
14	松前台三丁目地内（ふれあい道路）	昼間	70デシベル（71・68）	昼間	46デシベル	75デシベル	65デシベル	100台	2212台	21台	松前台3－2－1	区域（騒音）　5
	松前台三丁目・つくばみらい市行政界付近	夜間	65デシベル（67・63）	夜間	45デシベル	70デシベル	60デシベル	41台	151台	4台		区域（振動）　1
15	大柏地内（高速道路）	昼間	64デシベル（65・61）	昼間	―――	75デシベル	―――	1716台	8506台	57台	大柏841－3	区域（騒音）　7
	守谷わかば幼稚園運動場入口	夜間	61デシベル（63・60）	夜間	―――	70デシベル	―――	628台	1049台	5台		―――

注：測定地点欄の方角〇〇mは，常磐自動車道からの距離

（　　）は，要請限度を超えた値

騒音規制法第17条第1項の規定に基づく
指定区域内における自動車騒音の限度

	区域の区分	時間の区分	
		6時～22時	22時～6時
1	a区域のうち1車線を有する道路に面する区域	65デシベル	55デシベル
2	b区域のうち1車線を有する道路に面する区域	65デシベル	55デシベル
3	c区域のうち1車線を有する道路に面する区域	75デシベル	70デシベル
4	a区域のうち2車線以上を有する道路に面する区域	70デシベル	65デシベル
5	b区域のうち2車線以上を有する道路に面する区域	75デシベル	70デシベル
6	c区域のうち2車線以上を有する道路に面する区域	75デシベル	70デシベル
7	a区域，b区域，c区域にかかわらず，幹線交通を担う道路に近接する空間	75デシベル	70デシベル

a区域　専ら住居の用に供される区域

（第一種低層住居専用地域，第二種低層住居専用地域，第一種中高層住居専用地域及び第二種中高層住居専用地域）

b区域　主として住居の用に供される区域

（第一種住居地域，第二種住居地域及び準住居地域）

c区域　相当数の住居と合わせて商業，工業等の用に供される区域

（近隣商業地域，商業地域，準工業地域，工業地域及び工業専用地域並びに都市計画法による用途地域の指定のない地域）

幹線交通を担う道路に近接する空間

高速自動車国道，一般国道，都道府県道及び市町村道（市町村道にあっては4車線以上の区間に限る）

振動規制法第１６条第１項の規定に基づく指定区域内における道路交通振動の限度

区域の区分	時間の区分	
	6時～21時	21時～6時
第１種区域	65デシベル	60デシベル
第２種区域	70デシベル	65デシベル

※ 第1種区域の夜間の値は，国道又は主要地方道で交通量が5，000台/1日以上の区間では第2種区域の夜間の値とする。

第1種区域　都市計画法第8条第1項第1号に規定する第一種低層住居専用地域，第二種低層住居専用地域，第一種中高層住居専用地域，第二種中高層住居専用地域，第一種住居地域，第二種住居地域及び準住居地域

第2種区域　都市計画法第8条第1項第1号に規定する近隣商業地域，商業地域，準工業地域及び工業地域並びに同法による用途地域の指定のない区域

5. 自動車騒音常時監視

① 監視対象路線

市内の国道・県道及び４車線以上の市道が監視路線となり，５年のローテーションを組んで評価を行います。

監視路線の評価は，道路端から５０ｍ以内にある全ての範囲について自動車騒音の状況の把握を行い，面的評価の方法によって行います。

② 平成３０年度評価路線

平成３０年度は県道野田・牛久線の評価を行っています。

守谷市内の監視対象路線

一連番号	路線名	道路種別	車線数	路線延長 (km)	評価区間の総延長（全体） (km)	平成29年度 (km) 実施	平成30年度 (km) 計画	平成31年度 (km) 計画	平成32年度 (km) 計画	平成33年度 (km) 計画	備考	評価単位区間番号
1	常磐自動車道	1	6	4.8	4.8				4.8			30
2	一般国道294号線	3	4	3.7	3.7	3.7						22010
3	一般国道294号線	3	4	1.5	1.5	1.5						22020
4	野田牛久線	4	2	1.5	1.5		1.5					41900
5	野田牛久線	4	2	1.8	1.8		1.8					41910
6	野田牛久線	4	2	1.9	1.9		1.9					41920
7	野田牛久線	4	2	3.6	3.6				3.6			41930
8	野田牛久線	4	2	0.6	0.6				0.6			41940
9	野田牛久線	4	2	3.2	3.2			3.2				41950
10	守谷流山線	4	2	0.3	0.3			0.3				42020
11	守谷流山線	4	2	0.4	0.4					0.4		42030
12	取手豊岡線	4	2	4.6	4.6					4.6		42570
13	取手豊岡線	4	2	0.2	0.2					0.2		42580
14	取手豊岡線	4	2	0.8	0.8					0.8		42590
15	取手豊岡線	4	2	4.9	4.9			4.9				42600
15	谷井田稲戸井停車場線	4	2	1.5	1.5			1.5				64160
16	市道102号線	5	4	2.8	2.8					2.8		
計				38.1	38.1	5.2	5.2	9.9	9.0	8.8	38.1	

注）道路種別について　1：国土開発幹線自動車道等（高速自動車国道）　4：都道府県道（主要地方道を含む）

2：都市高速道路　5：4車線以上の市区町村道

3：一般国道　6：その他の道路

平成２９年度評価結果

基準達成状況（達成戸数）

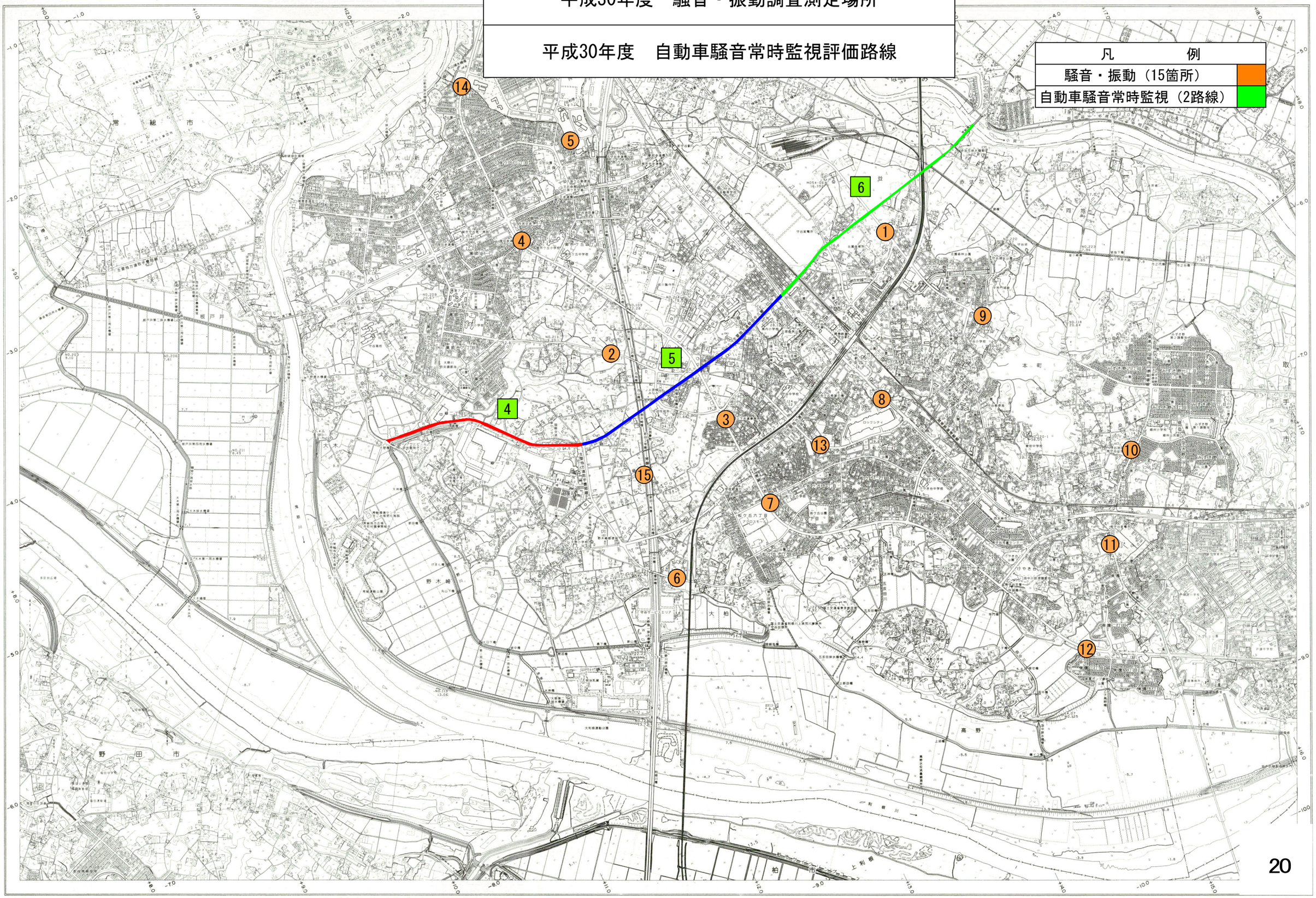
路線名	調査単位区間番号	評価対象住居等戸数（戸）	昼間・夜間とも基準値以下（戸）	昼間のみ基準値以下（戸）	夜間のみ基準値以下（戸）	昼間・夜間とも基準値超過（戸）
		a	b	c	d	e
国道 294 号線	22010	763	762	1	0	0
	22020	213	197	16	0	0
計		976	959	17	0	0

基準達成状況（達成率）

路線名	調査単位区間番号	昼間・夜間とも基準値以下（%）	昼間のみ基準値以下（%）	夜間のみ基準値以下（%）	昼間・夜間とも基準値超過（%）
		b/a	c/a	d/a	e/a
国道 294 号線	22010	99.9	0.1	0.0	0.0
	22020	92.5	7.5	0.0	0.0
計		98.3	1.7	0.0	0.0

平成30年度　騒音・振動調査測定場所

平成30年度　自動車騒音常時監視評価路線



6．二酸化窒素調査

基準値	0．06ppm以下

実施日　第1回　平成30年6月4～5日　　第2回　平成30年12月13～14日

No.	測 定 場 所	濃 度		測 定 環 境
		6月4～5日	12月13～14日	
1	美園交差点	0.028ppm	0.022ppm	幹線道路直面
2	乙子南交差点	0.026ppm	0.026ppm	幹線道路直面
3	国道294号南守谷駅前	0.028ppm	0.032ppm	幹線道路直面
4	ひがし野三丁目交差点	0.019ppm	0.022ppm	幹線道路直面
5	みずき野十字路交差点	0.029ppm	0.069ppm	幹線道路直面
6	西林寺前交差点	0.015ppm	0.026ppm	その他道路直面
7	けやき台四丁目交差点	0.022ppm	0.034ppm	幹線道路直面
8	本宿交差点	0.024ppm	0.034ppm	幹線道路直面
9	鈴塚交差点	0.030ppm	0.039ppm	幹線道路直面
10	向原交差点	0.037ppm	0.037ppm	幹線道路直面
11	百合ケ丘二丁目交差点	0.028ppm	0.026ppm	幹線道路直面
12	古城沼交差点	0.024ppm	0.028ppm	幹線道路直面
13	守谷駅東口入口	0.026ppm	0.024ppm	その他道路直面
14	土塔交差点	0.037ppm	0.032ppm	幹線道路直面
15	北園交差点	0.039ppm	0.041ppm	幹線道路直面
16	天神交差点	0.034ppm	0.037ppm	幹線道路直面
17	岩町交差点	0.032ppm	0.032ppm	幹線道路直面
18	守谷市役所入口	0.028ppm	0.047ppm	幹線道路直面
19	大柏公民館前	0.024ppm	0.030ppm	幹線道路直面
20	立沢交差点	0.032ppm	0.041ppm	幹線道路直面
21	御所ケ丘小学校前	0.028ppm	0.037ppm	幹線道路直面
22	峰林荘入口	0.024ppm	0.026ppm	その他道路直面
23	常総運動公園入口交差点	0.022ppm	0.032ppm	幹線道路直面
24	薬師台T字路	0.019ppm	0.028ppm	その他道路直面
25	板戸井交差点	0.039ppm	0.030ppm	幹線道路直面
26	守谷高校入口交差点	0.024ppm	0.028ppm	幹線道路直面
27	松前台小学校西交差点	0.022ppm	0.026ppm	その他道路直面
28	市民交流プラザ前交差点	0.024ppm	0.030ppm	幹線道路直面
29	新守谷駅前交差点	0.027ppm	0.034ppm	幹線道路直面
30	共同印刷前	0.028ppm	0.034ppm	その他道路直面
31	荒井鉄工所前	0.032ppm	0.032ppm	幹線道路直面

注 ［　　］は，基準を超えた値

（参考）　平成29年度　二酸化窒素調査

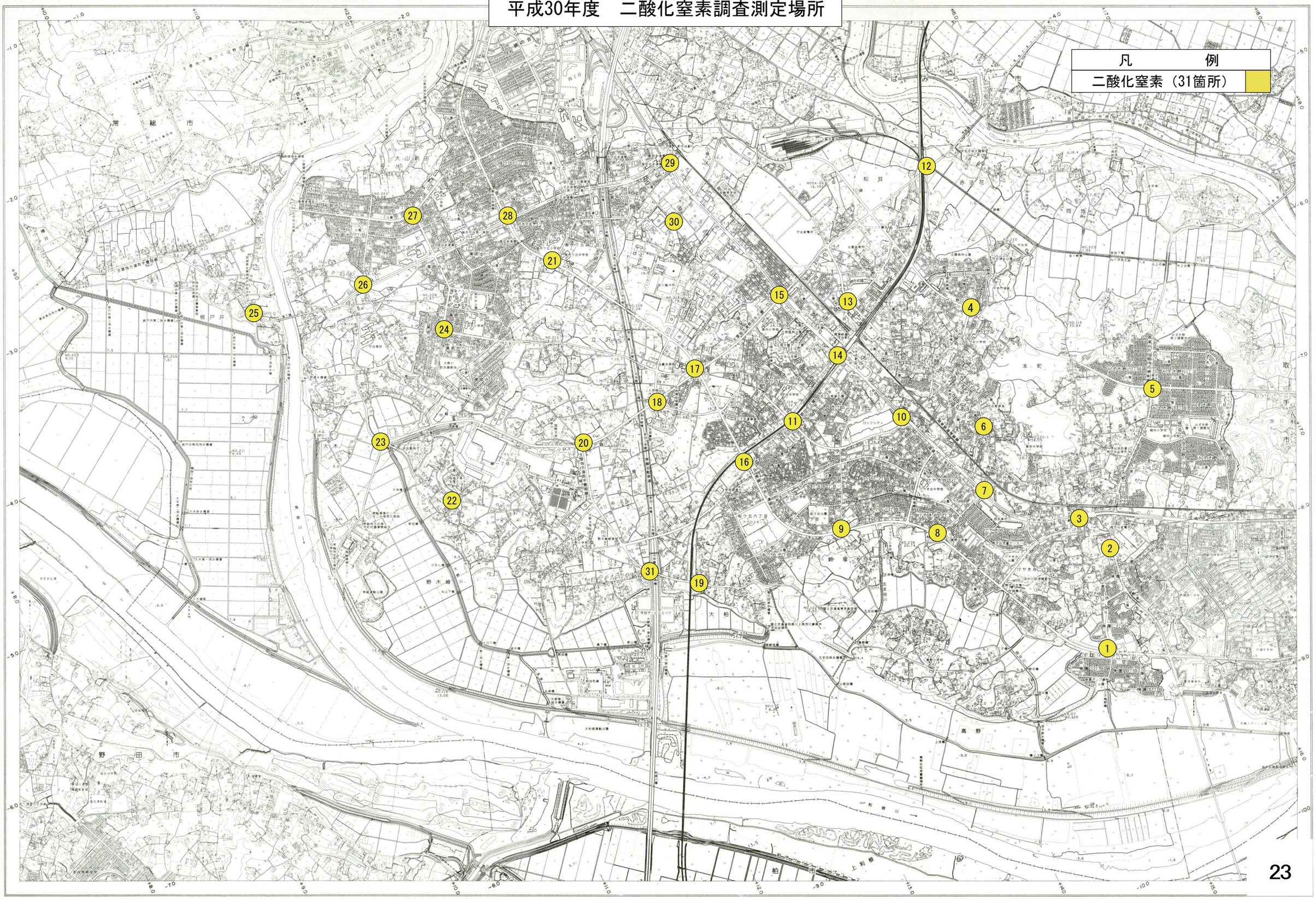
基準値	0．06ppm以下

実施日　第1回　平成29年6月6～7日　　第2回　平成29年12月5～6日

No.	測定場所	濃度		測定環境
		6月6～7日	12月5～6日	
1	美園交差点	0.022ppm	0.034ppm	幹線道路直面
2	乙子南交差点	0.022ppm	0.026ppm	幹線道路直面
3	国道294号南守谷駅前	0.024ppm	0.034ppm	幹線道路直面
4	ひがし野三丁目交差点	0.019ppm	0.022ppm	幹線道路直面
5	みずき野十字路交差点	0.019ppm	0.030ppm	幹線道路直面
6	西林寺前交差点	0.017ppm	0.028ppm	その他道路直面
7	けやき台四丁目交差点	0.024ppm	0.041ppm	幹線道路直面
8	本宿交差点	0.026ppm	0.039ppm	幹線道路直面
9	鈴塚交差点	0.022ppm	0.041ppm	幹線道路直面
10	向原交差点	0.024ppm	0.037ppm	幹線道路直面
11	百合ケ丘二丁目交差点	0.021ppm	0.034ppm	幹線道路直面
12	古城沼交差点	0.022ppm	0.028ppm	幹線道路直面
13	守谷駅東口入口	0.022ppm	0.026ppm	その他道路直面
14	土塔交差点	0.026ppm	0.039ppm	幹線道路直面
15	北園交差点	0.024ppm	0.041ppm	幹線道路直面
16	天神交差点	0.022ppm	0.034ppm	幹線道路直面
17	岩町交差点	0.021ppm	0.037ppm	幹線道路直面
18	守谷市役所入口	0.022ppm	0.049ppm	幹線道路直面
19	大柏公民館前	0.021ppm	0.037ppm	幹線道路直面
20	立沢交差点	0.024ppm	0.043ppm	幹線道路直面
21	御所ケ丘小学校前	0.024ppm	0.039ppm	幹線道路直面
22	峰林荘入口	0.026ppm	0.024ppm	その他道路直面
23	常総運動公園入口交差点	0.024ppm	0.030ppm	幹線道路直面
24	薬師台T字路	0.017ppm	0.026ppm	その他道路直面
25	板戸井交差点	0.024ppm	0.032ppm	幹線道路直面
26	守谷高校入口交差点	0.022ppm	0.024ppm	幹線道路直面
27	松前台小学校西交差点	0.022ppm	0.030ppm	その他道路直面
28	市民交流プラザ前交差点	0.024ppm	0.034ppm	幹線道路直面
29	新守谷駅前交差点	0.022ppm	0.052ppm	幹線道路直面
30	共同印刷前	0.019ppm	0.030ppm	その他道路直面
31	荒井鉄工所前	0.026ppm	0.047ppm	幹線道路直面

注 ［　　］は，基準を超えた値

平成30年度　二酸化窒素調査測定場所



7. 公害苦情受理報告　（平成３０年１２月３１日現在）

（1）大　　気	１５件	（5）臭　　気	7件
（2）騒　　音	6件	（6）土　　壌	0件
（3）振　　動	2件	（7）そ の 他※	４４６件
（4）水　　質	2件		
		合　　計	４７８件

※その他内訳	犬・猫	７５件	ごみ	１５７件
	不法投棄	２９件	残土	1件
	雑草	１５１件	その他	３３件